令和元年度（後期）小樽商科大学

授業料「免除・徴収猶予」申請のしおり

（私費外国人留学生用）

《目次》

Ⅰ　授業料免除の対象者　・・・・・・・・2
Ⅱ　提出書類及び添付書類　・・・・・・・・3
Ⅲ　授業料免除が不許可又は半額免除となった場合　・・・・・・・・3
Ⅳ　授業料徴収猶予について　・・・・・・・・4
　　記入例・基準表　・・・・・・・・5

授業料免除または徴収猶予の申請を願い出る場合は、このしおりを熟読のうえ、提出書類に不備のないよう注意してください。

1．申請受付期間

9月26日(木)～10月11日(金)21:00【厳守】

・**いかなる理由があっても締切日以降は受付しません。**また、書類に不備がある場合も受付しません。受付期間最終日は、窓口が大変混み合いますので、期間に余裕を持って申請してください。
・平日12:00～13:00及び土日祝日の間は受付しません。
・17:15以降は担当者が不在となることがありますので、できるだけ17:15以前に提出してください。

2．提出方法

・学生本人が学生支援課学生支援係窓口に直接提出してください。
・郵送での提出は原則として認めません。期間中に持参できない特別な事情がある場合は、必ず**事前に相談してください。**
・受付時に、提出書類の内容について説明を求めることがありますので、
学生本人が提出書類について、よく理解したうえで提出してください。

3．審査結果

12月上旬頃に学生支援課学生支援係窓口で学生本人に通知予定です。また、後日、結果通知文書を郵送します。審査結果の通知日については、決定次第、グローカルラウンジⅠ前のデジタルサイネージに掲示します。

（問い合わせ先）
〒047-8501　小樽市緑3丁目5番21号　小樽商科大学　学生支援課学生支援係
TEL：0134-27-5245／FAX：0134-27-5243　e-mail：g-shien@office.otaru-uc.ac.jp

《留意事項》

１．授業料免除等申請者は、審査結果の通知を受けるまで授業料の支払いが猶予されます。したがって、その間、授業料を支払わないでください。

前期は4月24日、後期は10月24日（銀行の休業日にあたる時は直前の営業日）に授業料の口座引き落としを行いますが、授業料免除等申請者については、これを行いません。

なお、支払済の授業料は、授業料免除を申請しても返還されません。

２．授業料免除等の申請については、毎年「前期」と「後期」の各期ごとに申請する必要があります。

前期分授業料が全額免除又は半額免除となった場合でも、後期分授業料の免除を希望する場合は、改めて免除の申請をしなければなりません。（猶予についても同様です）

３．授業料免除の選考対象者となる要件である「家計基準・学力基準」については、しおり後ろの基準表を確認してください。

基準表「家計基準・学力基準について」に記載されている要件を満たす場合であっても、免除実施予算額や申請者内での相対的な順位等により免除対象とならない場合があります。

従って、前回申請時に全額免除または半額免除となった場合でも不許可となることがあります。

Ⅰ　授業料免除の対象者

１．経済的理由によって授業料の支払いが困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

ただし、次の各号の一に該当する場合は、免除の対象になりません。

（１）前の期分の授業料を滞納している場合
（２）特別の理由なく同一の学年に留まっている場合
（３）特別の理由なく標準修業年限を超えている場合
（４）既に当該期分の授業料を支払った場合

２．独立行政法人日本学生支援機構給付奨学生である場合
（奨学金の給付が停止中である者を除く）

３．授業料の納付期限（前期：4月末、後期：10月末）前1年以内において、学資負担者の死亡、離別、失職、退職、病気、事故等による家計急変があり、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の支払が著しく困難であると認められる場合

４．上記３に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

５．上記２、３、４の場合であっても、次の各号の一に該当する場合は免除の対象になりません。
（１）前の期分の授業料を滞納している場合
（２）既に当該期分の授業料を支払った場合

Ⅱ　提出書類及び添付書類

１．提出書類（全員提出する必要があります）

授業料免除・徴収猶予願／家庭調書（本学所定様式）
※5～6 頁の記入例を確認のうえ、作成してください。

こちらの QR コードからも
アクセス可能です。

２．添付書類

前期授業料免除を申請した学生（書類不備で不許可になった学生を除く。）が，後期授業料免除も申請する場合であって，前期申請時から家計状況に変化がない場合は，添付書類の提出は不要です。

添付書類No	区分	必要書類
1	**全員**	**私費外国人留学生経済状況申告書** ※「２．家計の状況」における授業料支出額は、免除を受けない前提での金額（44,650円）となります。
2	**全員**	**在留カードの写し（両面）** ・在留カードについては、留学生本人が、コピーを用意してください。その際、裏面のコピー漏れがないように注意してください。 ※裏面に記載がなくても、必ず両面をコピーしてください。
3	**全員**	**所得証明書（住民税及び前年の所得金額の記載があるもの）** ・今年の１月１日時点で日本に住所がない方は、パスポートの個人情報（顔写真等）の記載があるページと査証（ビザ）のページの写しを提出してください。
4	**該当者のみ**	**「様式５　在学状況及び授業料免除状況証明書」** ・同居の兄弟等で国立大学または国立大学院の就学者がいる場合のみ提出してください。
5	**その他**	必要に応じて本学が提出を求める書類

Ⅲ　授業料免除が不許可又は半額免除となった場合

授業料免除の申請結果が不許可又は半額免除となった場合及び，授業料徴収猶予が認められた場合の授業料の納付期限は令和２年２月 28 日（金）となります。

Ⅳ　授業料徴収猶予について

通常の前期分授業料の支払期限は10月末ですが、これを最終期限の令和2年2月28日（金）まで猶予します。

令和元年度後期分の授業料徴収猶予を希望する学生は、下記により申請してください。

１．申請方法

「授業料免除・徴収猶予願」を学生支援課学生支援係窓口に提出してください。

（授業料免除を申請した学生は，同時に徴収猶予も申請したものと取り扱います。）

２．受付期間等

9月26日（木）～10月11日（金）21:00まで【厳守】

※平日12:00～13:00及び土日祝日の間は、受付しません。

※締切以降は受付しませんので、期間に余裕を持って申請してください。

３．審査結果

・12月上旬頃，学生支援課学生支援係窓口にて、本人に通知予定です。

・後日、結果通知文書を自宅に郵送します。

※その他、「授業料免除」の取扱いに準じます。

－注意事項－

申請受付後に書類不備や確認が必要な事項が判明した場合、追加で書類の提出等を指示することがありますので、大学からの連絡には、速やかに対応してください。

0134-27-5245（「学生支援係」名で携帯に登録しておくこと）

申請受付後であっても、追加で指示された書類を指定された期限までに提出しなかった場合や大学からの連絡に応じなかった場合は、書類不備として審査の対象から除外します。

提出された申請書類の記載内容等が事実と異なることが判明した場合、免除の許可を取り消すことになりますので十分注意してください。

※懲戒処分等の対象となる場合があります。

授 業 料 免 除 ・徴 収 猶 予

どちらかにチェックする。

令和　　年　　月　　日

小樽商科大学長　殿

提出年月日を記入する。

入学年度を記入し、入学又は編入学のいずれかに〇を付ける。

入　学　年　度：平成　　年度　※（入学・編入学）□学部　□大学院　学年：　　年次

本　人　氏　名：
※本人が署名すること　　学生番号：

本　人
連　絡　先：　〒　－　TEL（携帯電話）：　－　－　FAX：　－　－
住所：

家計支持者氏名：
※家計支持者が署名すること
（留学生および社会人学生は記入不要）

家 計 支 持 者
連　絡　先：　〒　－　TEL：　－　－
住所：

授業料免除・徴収猶予を申請するに至った事情を具体的に記入する。
※世帯を構成する一人ひとりの状況をそれぞれ記入すること。

希望する欄にチェックを記入する。

現在、授業料を納付することが困難なため、関係書類を添えて以下のとおり申請します。

●申請内容

☑授業料免除・徴収猶予を申請する。
（授業料免除を申請した場合，授業料徴収猶予も同時に申請したと取り扱います）
□授業料徴収猶予のみ申請する。（許可された場合，徴収猶予期限は２月末となります）
□（前期申請者のみ）前期申請時から家計状況に変化はない。→追加書類の提出不要

●申請理由：世帯一人ひとりの状況等について、**本人**が詳細に記入すること。

父は、不況の影響により、平成３１年３月末に解雇されました。平成３１年４月から再就職したものの給料は以前の半分程度に減少してしまいました。
母は、令和元年５月から家計を支えるためにパートをしていますが、勤務時間が限られており、それほど多くの収入は得られません。
また、私は３人兄弟ですが、姉は国立大学、兄は専門学校に通っており収入はありません。私は、勉学に集中したいと考えておりアルバイトをする時間が限られています。奨学金も受けてはいますが、家計から私の授業料を支払うことができません。以上の理由により、授業料の免除をお願いいたします。

家計支持者が無職の場合には、いつからその状況にあるのか、現在、生活費をどのようにまかなっているのか、再就職の見通し等について記入する。

過去に休学したことがある場合に記入する。休学の理由についても該当するものに〇を付ける。

※休学歴がある場合、その期間・理由を記入	※2019年度前期までの授業料納付状況	※前回の授業料免除状況
平成　年　月～平成　年　月 病気・留学・その他（　　）	授業料：納入済　・　未納	全額免除・半額免除・不許可・申請なし

前の期までの授業料の納付状況について該当するものに〇を付ける。

前回の授業料免除の申請の有無及び結果を記入する。

家　庭　調　書

該当する項目に〇を付ける。

該当する項目に〇を付ける。
また、前年の１月以降に該当するに至った場合は、その年月を記入する。

続柄		氏名	年齢	現在の収入形態(該当するものにすべて〇をつけてください)
本人		1. 自宅 (2.)自宅外	才	(1)大学生　2. 大学院生
就学者を除く家族	父	(1)自宅 2. 自宅外	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得　有・無 H31 年 4 月以降の就職・転職の有無：(有)(R1　年　7　月～)　・　無 H31 年 4 月以降の退職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無
	母	(1)自宅 2. 自宅外	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得　有・無 H31 年 4 月以降の就職・転職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無 H31 年 4 月以降の退職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無
		1. 自宅 2. 自宅外	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得　有・無 H31 年 4 月以降の就職・転職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無 H31 年 4 月以降の退職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無
		1. 自宅 2. 自宅外	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得　有・無 H31 年 4 月以降の就職・転職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無 H31 年 4 月以降の退職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無
		1. 自宅 2. 自宅外	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得　有・無 H31 年 4 月以降の就職・転職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無 H31 年 4 月以降の退職の有無：有(H　　年　　月～)　・　無

H29.10.1 以降、保険金等の臨時所得があった場合に〇を付ける。

自宅外で独立している兄弟などは、記入しないこと。

申請日（前期：4 月 1 日、後期：10 月 1 日）現在の就学者について記入する。
前期に申請する場合は、3 月卒業及び 4 月入学の兄弟についての誤記載に注意すること。

を記入してください。
だし、同居の祖父母等は記入して

国立の場合、前年度分の授業料免除の状況について、該当する項目に〇を付ける。

続柄		設置区分	在学学校（学年）	前年度分 授業料免除状況 ※国立の就学者のみ 前期	後期
本人以外の就学者	(1)自宅 2. 自宅外 （　　才）	(1)国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校　2. 中学校　3. 高校　(4)大学　5. 高等専門学校 6. 専修学校（高等課程）　7. 専修学校（専門課程）　年 学校名	(1)無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 (3)半額
	(1)自宅 2. 自宅外 （　　才）	1. 国立 2. 公立 (3)私立	1. 小学校　2. 中学校　3. 高校　4. 大学　5. 高等専門学校 6. 専修学校（高等課程）　(7)専修学校（専門課程）　年 学校名	(1)無 2. 全額 3. 半額	(1)無 2. 全額 3. 半額
	1. 自宅 2. 自宅外 （　　才）	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校　2. 中学校　3. 高校　4. 大学　5. 高等専門学校 6. 専修学校（高等課程）　7. 専修学校（専門課程）　年 学校名	1. 無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 3. 半額
	1. 自宅 2. 自宅外 （　　才）	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校　2. 中学校　3. 高校　4. 大学　5. 高等専門学校 6. 専修学校（高等課程）　7. 専修学校 学校名		

高校卒業後に入学する専門学校は、主に、専修学校（専門課程）。

（注 1）　予備校生は就学者には該当しません。

特別控除関係		
	母子・父子世帯	父無：　生別　・　死亡　（　　年　　月）※死亡の場合のみ、年月を記入してください。 母無：　生別　・　死亡　（　　年　　月）※死亡の場合のみ、年月を記入してください。
	障がい者のいる世帯	続柄（　　）　**障がい者**（障がい者手帳　**有・無**）　手帳番号（　　） 続柄（　　）　**障がい者**（障がい者手帳　**有・無**）　手帳番号（　　）
	長期療養者のいる世帯	続柄（　　）　療養期間　　年　　月から　※1. 入院・2. 通院 続柄（　　）　療養期間　　年　　月から　※1. 入院・2. 通院
	家計支持者別居の世帯	続柄（　　）
	火災・風水害等の災害を受けた世帯	被害年月日　年　月　日　／　被害内容
	家計急変世帯	家計急変事由（　　）